

平成21年度 加西市の決算状況

平成21年4月1日から平成22年3月31日までの市の収入と支出の実績を報告します。各決算は、市議会9月定例会に提案されており、決算特別委員会での審議を経て、12月定例会で決算認定の採決が行われる予定です。

■一般会計

歳入総額	192億 7,821万円
歳出総額	190億 3,271万円
差引	2億 4,550万円
翌年へ繰越	4,541万円
実質収支	2億 9万円
(20年度実質収支)	7,294万円
単年度収支	1億 2,715万円

歳入のうち、最も多いのは市民の皆さんに納めていただいた市民税・固定資産税などの市税収入で、66億円です。

家屋・償却資産の増加により固定資産税が増加しましたが、一方、景気の低迷により法人市民税が減少し、前年（68億円）に比べて約2億円（2.5%）の減少となっています。

市税のうち目的税である都市計画税2億1千万円は、土地区画整理、公園、街路整備事業や下水道整備に係る元利償還金などの都市計画事業費7億9千万円の財源として使われています。

市税、繰入金、諸収入等が減少したものの、国庫支出金、市債、県支出金、地方交付税等が増加したことにより、合計で11億9千万円の増加となっています。

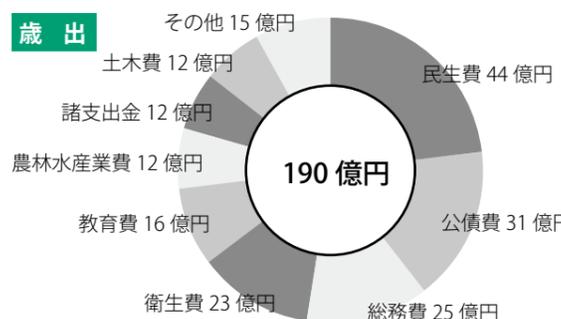
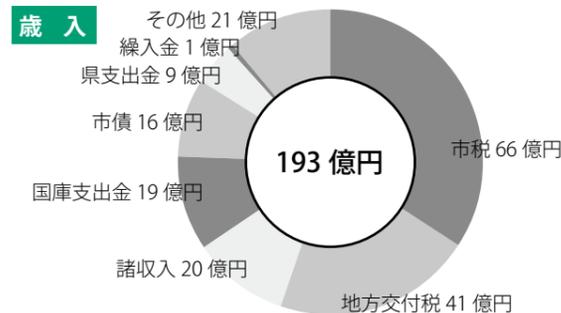
歳出では、貸付金、繰出金、維持補修費等が減少したものの、補助費等、公債費、扶助費が増加したことにより、合計で10億5千万円の増加となっています。

また歳入歳出差引額は、2億5千万円で34年連続の黒字となり、21年度実質収支から20年度実質収支を差し引いた単年度収支は1億3千万円の黒字となっています。

市民一人あたりに使われた金額

民生費	9万 204円
(高齢者・障害者・子どもの福祉等)	
公債費	6万 3,087円
(借金の返済や利子の支払等)	
総務費	5万 884円
(戸籍、徴税、防犯等)	
衛生費	4万 6,597円
(健康の保持、ごみ処理等)	
教育費	3万 2,352円
(学校施設、スポーツ振興等)	
農林水産業費	2万 4,535円
(農業振興、山林の管理等)	
諸支出金	2万 4,353円
(公社貸付金、基金への積立等)	
土木費	2万 4,142円
(道路、市営住宅の維持管理等)	
その他	3万 7,043円

合計 39万3,197円



■特別会計・企業会計

特別会計（有線放送電話、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、老人保健医療、公園墓地整備事業）は、黒字となっています。企業会計は、病院事業で赤字ですが、水道事業、下水道事業、農業共済事業は黒字となっています。

■加西市の借金時計（市ホームページに掲載）

<表示例>

加西市の市債（借金）残高は（2010年9月8日15時15分35秒 現在）

473億 8,085万 3,088円 96銭です。

【126億円の減少】588億円（平成17年3月31日現在）→462億円（平成23年3月31日現在）

1日に約574万8,060円、1時間に約23万9,503円、1秒間に約67円減少しています。

市債（借金）残高等の増減見込額を、時間の進行にあわせて表示する「借金時計」を掲載しています。表示時点の実際の残高と一致しませんが、市民の皆様に関心をもっていただけるように作成しました。土地開発公社の借入金なども加えた実質債務残高も掲載しています。

【問合せ】 財政課財政担当 ☎④8710 ※決算状況の詳細は、市ホームページに掲載しています。

市税の電子申告の受付を開始しました

市税の申告や届出が、インターネットによる電子申告システム「eLTAX（エルタックス）」を利用して行えます。

■ eLTAX で利用できる申告や申請・届出

税目	申告	申請・届出
法人市民税	予定申告、中間申告、確定申告、修正申告など	法人設立・設置届、異動届
個人住民税（特別徴収）	給与支払報告書（総括表・個人別明細書）、特別徴収に係る給与所得者異動届、普通徴収から特別徴収への切替申請など	特別徴収義務者の所在地・名称変更届
固定資産税（償却資産）	全資産申告、増加資産/減少資産申告など	—

■ eLTAX の利用について

利用にあたっての詳細については、eLTAX ホームページ (<http://www.eltax.jp/>) をご覧いただき、手続きを行って下さい。

【問合せ】 税務課税制担当 ☎④8712 税務課資産税担当 ☎④8713

携帯電話等からの119番通報で発信位置がわかるようになりました

加西市消防本部では、9月より「携帯電話」やインターネット回線利用の「IP電話」からの119番通報で、通報者の位置情報が地図上で確認できる「位置情報通知システム」の運用を開始しました。

これにより、通報者の発信位置を迅速に把握することが可能になり、災害場所の特定がスムーズに行えることが期待されます。

■ 注意点

- 対象となる携帯電話は、第3世代（FOMA、CDMA1等）と呼ばれる機種で、全ての携帯電話が対象ではありません。
 - IP電話の場合は、電話番号が「050」から始まる電話サービスを除いたものが対象です。なお、NTTの一般加入電話は対象となりません。対象とならない電話からの通報は、今までどおりの音声通話のみとなります。
 - 通知される位置情報は、携帯電話の場合、GPS機能が付いた機種では、位置の誤差が数mから数10mとほぼピンポイントで表示されますが、GPS機能が付いていない機種では、受信した携帯電話会社基地局の所在地等から位置を割り出すため、電波状態や地理的条件により、その誤差は数10mから10kmになります。
- ※位置情報が十分確認できないことがありますので、119番通報に際しては、これまでどおり口頭で住所等通報位置や目印となる目標物を伝えて下さい。

【問合せ】 消防本部警防課 ☎④0119 FAX④3435 keibo@city.kasai.lg.jp

9月は「防災月間」。いざという時のために、3日間の食の備えをしましょう

災害が発生して救急支援体制が整うまでに約3日間を要すると言われています。その間を自力で乗り切るためにも、防災袋に備蓄食品を備えておきましょう。災害時は野菜が不足しやすいため、野菜の缶詰を揃えるとよいでしょう。

■ 防災袋に入れる持ち出し用物品の例（1人あたり1日分の食品）



■ 保存方法

- 出入り口近くなど、すぐ取り出しやすく、目につきやすい場所に保管しましょう。
- 家屋の倒壊等を想定すると、屋外に保管するのが最適です。
- 家の中で保管する場合は、できるだけ頑丈なケースに入れましょう。
- 自家用車のトランクに、ペットボトルの水や缶パン等を保存しておくことで携帯食として活用できます。
- 家族全員がその場所を知っておくことが大切です。

1日分の持ち出し用物品の重さは5～6kgが目安になります

【問合せ】 国保健康課健康担当 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp